

2023 年度

環境経営 レポート

(対象期間: 2023 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日)



株式会社 **コスモ**

Waste industry & dismantling Contractors



認証番号0010610

作成日: 2024年5月15日



ごあいさつ

昨今、地球環境の保護が大きな社会問題となっております。とりわけ産業廃棄物処理業界におきましては、排出される廃棄物が多種多様で複雑化してきており、リサイクル処理技術の更なる向上が最も重要な課題の一つであると思われます。私達は今後も安全確実な処理を行い続けて参りますとともに、EA21の取組を通じて、微力ながら地域の環境保全に精一杯努めて参ります。



環境経営方針

＜環境理念＞

私たちは、当社の事業活動を通じて循環型社会構築の一翼を担い、人と自然が調和する持続可能な社会を目指します。
これからの新しい未来に向けて、環境経営の継続的改善を重ねつつ、地球環境保全活動に全力で取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1．環境関連の法規制等や当社が約束したことを遵守します。
- 2．電力や燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3．廃棄物の排出量削減に努めます。
- 4．水道使用量の削減に努めます。
- 5．グリーン購入を推進します。
- 6．選別を徹底し、受託廃棄物の減量化・再資源化に努めます。
- 7．地域社会の貢献に努め、環境活動を行います。



制定日： 2014年10月23日

改定日： 2023年11月7日

代表取締役 金森 貴未



組織の概要

1. 名称及び代表者名

株式会社コスモ

代表取締役社長 金森 貴未

2. 所在地

本 社 大阪府羽曳野市郡戸50-1

東大阪リサイクルセンター 大阪府東大阪市加納4-14-28

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡

責任者(兼担当者) 管理部部長 兼 本社工場長 吉田 武 TEL:072-952-8310

4. 事業内容

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、総合解体工事業

5. 事業の規模

法人設立 平成5年7月30日

資本金 3,000 万円

売上高 42,749 万円

	本社	本社工場	東大阪リサイクルセンター	合計
従業員	13 名	11 名	2 名	26 名
延べ床面積	154.23 m ²	1,980 m ²	1,000 m ²	3,134 m ²

【受託した産業廃棄物の処理量】

収集運搬量	2,341 t		
中間処理量	1,214 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	1,214 t	うち再資源化量	875 t

【収集運搬車両】

車種	台数	備 考
4tコンテナ車	6 台	
4t平ボディ車	1 台	
2tダンプ車	2 台	
3tダンプ車	1 台	
3tクレーン車	2 台	
3tコンテナ車	1 台	
10tコンテナ車	1 台	
ステーションワゴン	4 台	
合計	18 台	

【主要設備】

名称	台数	備考
2軸式破砕機	1 基	産業廃棄物の種類、処理能力(t/日): 廃プラスチック類 4.7, 繊維くず3.1, ガラスくず4.1, 紙くず3.1, ゴムくず4.6, がれき類3.7, 木くず4.7, 金属くず3.5
減容固化機	1 基	産業廃棄物の種類: 廃発泡スチロール, 処理能力: 80kg/時間
バックホウ	5 基	
ホイールローダー	1 基	
フォークリフト	5 基	

【積み替え保管施設】

名称	保管面積	保管上限	備考
本社工場	822.2 m ²	489.6 m ³	

6. 事業年度

4月1日～3月31日

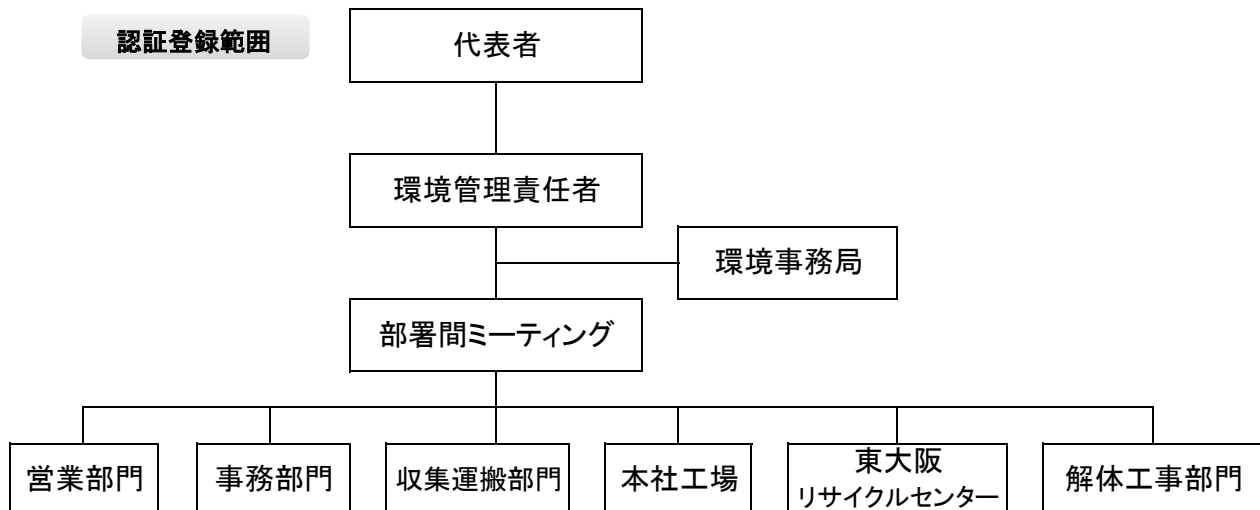


認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社コスモ
 対象事業所： 本社工場
 東大阪リサイクルセンター
 解体工事現場
 活動： 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、総合解体工事業



組織図



役割・責任・権限	
代表者	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営活動レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 - 環境経営活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部署間ミーティング	- 環境経営活動計画の審議 - 環境経営活動実績の確認・評価
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境経営への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



許可の内容

種類	発行者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	産業廃棄物の種類																			建設工事の種類		
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	ばいじん	感染性産業廃棄物	廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	とび・土工事業	内装仕上り事業	解体工事
産業廃棄物 収集運搬業	大阪府	02710007612	R5.8.25	R10.8.24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	－				
	奈良県	第02900007612号	R5.9.2	R10.9.1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	－				
	兵庫県	第02801007612号	R5.12.7	R10.12.6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	－					
	和歌山県	第03000007612号	R2.8.18	R7.8.17	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	－					
	京都府	02610007612	H30.2.23	R6.10.27	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	－					
	滋賀県	第02501007612号	R1.11.24	R6.11.23						●	●	●	●		●	●	●	●		●	－					
	三重県	第02400007612号	H30.6.26	R7.6.25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	－					
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業	大阪府	第02750007612号	R5.9.5	R10.9.4		●	●	●	●								●		●	●	●	－				
	奈良県	第02950007612号	R5.9.21	R10.9.20		●	●	●	●										●	●		－				
	兵庫県	第02851007612号	R2.3.15	R7.3.14	●	●	●	●	●								●		●	●	●	－				
	和歌山県	第03050007612号	H30.3.14	R7.2.18	●	●	●	●	●								●		●	●	●	－				
	三重県	第02450007612号	R3.6.7	R8.3.2	●	●	●	●	●										●	●	●	－				
産業廃棄物 中間処理業	東大阪市	第06820007612号	R3.5.18	R8.5.17						●	●	●	●		●	●	●		●			－				
一般建設業	大阪府	(般-2)第98553号	R2.5.12	R7.5.11																				●	●	●
金属くず業	大阪府	第4913号	H9.4.1	－	－																			－		
廃棄物 再生事業者	大阪府	第158号	H27.5.14	－	－																			－		

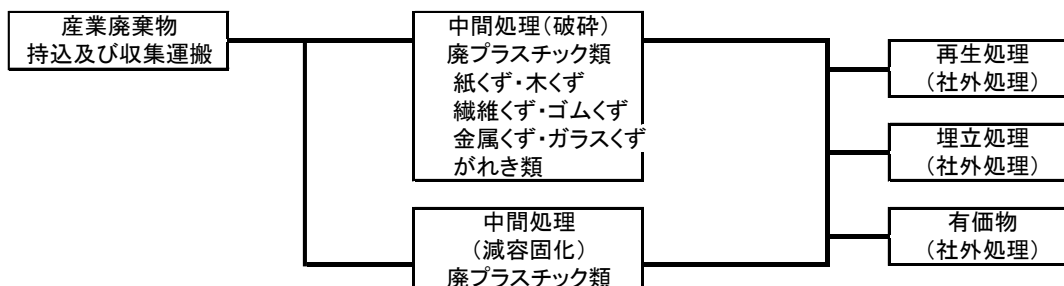


処理料金

廃棄物の種類、荷姿、性状等により処理料金は異なりますので、お気軽に営業課(電話:072-952-8310)までお問い合わせ下さい。



処理フロー





主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	321,498	247,095	253,952
解体工事件数				
元請工事	件	5	0	0
下請工事	件	13	13	2
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	1.022	0.867	0.723
産業廃棄物排出量	トン	4,671	4,653	1,214
総排水量	m ³	677	597	635

※二酸化炭素排出係数(関西電力2019年度 0.318 kg-CO₂/kWh

※二酸化炭素総排出量には液化石油ガス(LPG)含む



環境経営目標及びその実績

年 度		基準値	2023年		2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,837	25,320	22,993	25,062	24,804
	基準年度比	2019年	98%	89%	97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	325,304	315,544	230,931	312,291	309,038
	基準年度比	2019年	97%	71%	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	351,141	340,865	253,924	337,353	333,842
一般廃棄物の削減	t	1.148	1.114	0.723	1.102	1.091
	基準年度比	2019年	97%	63%	96%	95%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	74%	76%	72%	77%	78%
	基準年度比	2019年				
水道水の削減	m ³	1,147	1,124	635	1,113	1,101
	基準年度比	2019年	98%	55%	97%	96%
グリーン購入の推進	%	—	58%	74%	59%	60%
	基準年度比					
解体工事における環境配慮	・クレームゼロ ・工事後の清掃の徹底 ・廃棄物の確実な保管 ・近隣へのあいさつ					
収集運搬における環境配慮	・積み込み時のホコリ等の飛散防止 ・汚した場合は清掃を行う ・停車時はアイドリングストップ ・作業時のエンジンの回転数を抑える					



環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
--------	------	--------------------

電力による二酸化炭素削減

数値目標	○	不要照明の消灯の徹底
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	エアコンの適正使用及び効率的な作業より達成出来たと考えられる
・業務効率化を推進し残業時間を削減	○	
・配車室の遮熱対策	○	
・看板灯の使用時間の短縮化(タイマー使用)	○	
・事務所照明のLED化	○	

自動車燃料による二酸化炭素削減

数値目標	○	現場収集のルートの効率化・アイドリングストップの徹底や工場内作業の効率化によりエコ運転の徹底により達成出来たと考えられる
・エコ運転の徹底(重機)	○	
・配車業務を見直し、収集運搬業務の効率化	○	
・各車両の燃費調査	○	
・更新時に低燃費車を選択(重機・トラック・営業車)	○	

一般廃棄物の削減

数値目標	○	取引先及び社内連絡のデジタル化により達成出来たと考えられる
・資源ごみ分別の徹底(缶・ビン・ペットボトル)	○	
・コピー用紙の再利用・リサイクル化	○	
・社内回覧のペーパーレス化	○	
・機密書類の処分を古紙再生業者へ	○	
・書類の電子化によるペーパーレス化	○	

受託廃棄物のリサイクル率の向上

数値目標	×	リサイクル向上に励んでいるが、リサイクル不可物の増加により目標達成が出来なかった
・排出先での分別徹底の依頼	○	
・リサイクル先の新規開拓	△	処理施設の基準が厳しい為、リサイクル先の新規開拓を行えなかった
・選別の徹底	○	顧客へもリサイクル率の悪い荷物の分別説明は行っているが受入拒否は行っていない
・新規顧客のリサイクル率の悪い荷物の受入拒	△	
・顧客への廃棄物受入基準の指導	○	

水道水の削減

数値目標	○	雨水の活用ができています
・節水シールの貼り付け	○	
・節水ポスターの掲示	○	
・雨水の利用量調査	○	

グリーン購入の推進

数値目標	○	グリーン対象のない品の購入が必要な月は未達成となったが今後も通常注文のグリーン購入は続けていく
・省エネ性能の高い電気製品等の購入	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	△	
・消耗品グリーン購入	△	

解体工事における環境配慮

・クレームゼロ	-	元請工事無
・工事後の清掃の徹底	-	下請け工事でも現場ルールの周知・徹底が行われている為クレーム等の発生もない
・廃棄物の確実な保管	-	
・近隣へのあいさつ	-	

収集運搬における環境配慮

・積み込み時のホコリ等の飛散防止	○	飛散防止のシートはメッシュではなく布製を推奨
・汚した場合は清掃を行う	○	こまめに破損箇所への補修を行っている
・停車時はアイドリングストップ	○	
・作業時のエンジンの回転数を抑える	○	
・重機の使用を抑える	○	



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬業及び処分業、解体工事業
建設リサイクル法	解体工事業
オフロード法	バックフォー
騒音規制法	破碎機
振動規制法	破碎機
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検
自動車NOx・PM法	収集運搬車
大阪府条例(流入車規制)	収集運搬車
消防法	重機燃料(軽油)の予備
浄化槽法	浄化槽
グリーン購入法	備品購入及び事務用品

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・2023年度は処分場の事情による急な受入制限や、大阪府の許可更新に伴う行政対応などが重なったが、搬出先の予備を確保していたことにより、難なく対応することができた。
- ・環境経営目標では、光熱費が高騰するなか、各人が自宅で生活するのと同じように、排出量削減を意識し取り組むことができた。
- ・リサイクル率の目標達成は難しかったが、工場においては、スタッフ全員が時間と労力の許す限り分別をしてきている。
- ・2023年度は、運転手を含めた活動が不十分だった。特に環境配慮において係る機会が多い部署なので、2024年度は環境経営目標を2021年度を基準年度として、達成できるように促していく。

2024年4月18日
代表取締役社長 金森 貴未

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり



環境経営活動の紹介

ゴミの分別の徹底

【機密書類】

弊社では不要になった個人情報等の書類はダンボールへ入れ厳重に梱包し、未開封のまま溶解処理へ出します。
処理した機密書類は製紙原料となり、リサイクルトイレットペーパーとして生まれ代わり環境に配慮したリサイクル活動として取り組んでいます。
2023年度は1050kgの書類が集まりました。



【その他分別の徹底】

地域の条例に従い、分別を行っています。
リサイクルできるものは、リサイクルし出きる限り一般廃棄物・産業廃棄物の削減に取り組んでいます。



グリーン購入の推進

社内で使用する文房具・備品・消耗品等を購入する際、
・エコマーク
・グリーン購入法適合商品
・グリーン購入ネットワーク(GPN)のデータベースに記載されている商品
以上を参考にし、優先的に購入をしています。

